

令和元年度(2019年度)

管理事業名	安心安全事業				総合計画の体系	大綱 2 政策 2 施策 1	防災・防犯 犯罪を許さないまちづくり 防犯力の向上
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 26	安心安全費
部局名	総務部	予算執行所属	危機管理室				
予算大事業名 安心安全事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)一般管理費 安心安全事業						
事業の目的と概要 市の防犯体制の整備や防犯ボランティアの育成・支援、その他の危機管理事象の対応・対策を実施し、安心安全に関わるすべての団体・機関とネットワークを構築し、安心して安全に暮らせるまちづくりを推進します。 【主な事業】 安心安全の都市(まち)づくりの推進 各団体と連携し、安心安全のまちづくりを進めます 防犯体制の整備 市青色防犯パトロールによる巡回や警察OBの防犯活動推進員による安心安全のまちづくりを推進 防犯環境の整備 防犯カメラの管理運用等、防犯環境を整備することで犯罪抑止効果を高め、防犯力の向上を図ります 防犯ボランティアの育成・支援 吹田防犯協議会や地域の青色防犯パトロール等の活動などに対して支援を実施							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
刑法犯罪認知件数	件	2,843	2,374	2,113	吹田市内の刑法犯の認知件数。警察統計のため暦年(1月から12月まで)の件数
青色防犯パトロール活動団体数	団体	12	12	13	吹田市青色防犯パトロール隊も含む
成果の説明	市や警察、防犯協議会、企業、防犯ボランティアなど安心安全に関わるすべての団体・機関と連携し、啓発活動や防犯活動の取組みを進め、令和元年の刑法犯罪の認知件数については、2,113件となりました。ピーク時の平成13年の10,416件からは約80%減り、年々減少傾向にあります。防犯活動は、継続して行うことが重要であり、防犯講座や防犯キャンペーン等の啓発活動や防犯ボランティアの育成・支援を行うことで、市民一人ひとりの防犯意識の向上や地域の防犯力の向上だけでなく、市民の安心感にもつながっています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,539	40	36	△4
経常収入 小計(a)	2,539	40	36	△4
給与関係費	49,171	43,855	42,934	△922
物件費	2,686	3,782	3,836	54
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	5,942	7,922	5,665	△2,257
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	9,858	20,359	26,850	6,491
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,506	2,612	2,635	23
退職手当引当金繰入額	6,836	△2,270	639	2,909
支払利息	322	693	762	69
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	77,120	76,953	83,320	6,366
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△4,581	△6,914	△8,284	△1,370
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	1,539	1,539
特別収入 小計(d)	-	-	1,539	1,539
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	1,507	1,507
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	1,507	1,507
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	32	32
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△4,581	△6,914	△8,252	△1,338
一般財源充当額	70,339	81,598	84,708	3,109
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△4,243	4,685	1,456	△3,229

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	42,934千円(921千円の減) 職員人件費、非常勤職員報酬、臨時雇員賃金等
減価償却費	26,850千円(6,491千円の増) 防犯カメラ等に係る減価償却費。
退職手当引当金繰入額	639千円(2,909千円の増)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,539	40	36	△4
行政サービス活動支出	63,735	61,548	58,128	△3,420
行政サービス活動収支差額	△61,196	△61,508	△58,092	3,416
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	9,142	20,090	26,616	6,526
財務活動収支差額	△9,142	△20,090	△26,616	△6,526
収支差額 合計	△70,339	△81,598	△84,708	△3,109
一般財源充当額	70,339	81,598	84,708	3,109
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(財務活動支出) 防犯カメラに係るリース債務返済 26,616千円(6,526千円増)
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072 人	208 円	令和2年3月31日現在の吹田市内人口で算出すると、市民1人あたり223円のコストがかかっています。減価償却費や退職手当引当金繰入額などの経常費用が前年度より増えたため、コストが増えています。
	平成30年度	371,030 人	207 円	
	令和元年度	373,978 人	223 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	29,222	29,463	240
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,612	2,635	23
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	26,610	26,828	218
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	105,425	78,669	△26,755	固定負債	106,187	77,736	△28,452
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	105,425	78,669	△26,755	退職手当引当金	26,589	24,908	△1,680
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	79,599	52,827	△26,771
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	135,410	107,198	△28,211
土地	-	-	-	純資産	△24,545	△23,089	1,456
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	5,440	5,440	-				
出資金	5,440	5,440	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	110,865	84,109	△26,755	純資産の部合計	△24,545	△23,089	1,456
				負債及び純資産の部合計	110,865	84,109	△26,755

Ⅲ 財務構造分析

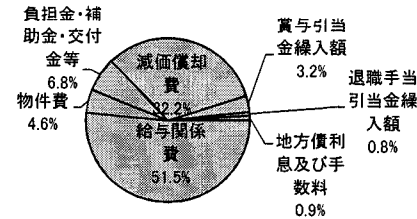
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	4人	4人	120日		
給与関係費等	33,583千円	11,562千円	1,062千円		46,208
内、時間外勤務手当	1,597千円				

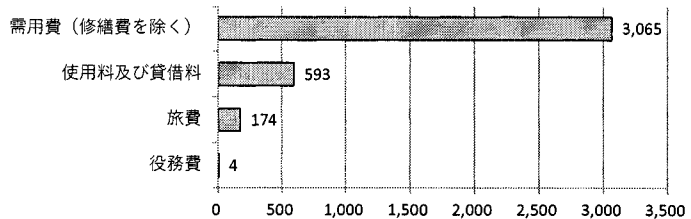
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
リース資産	78,669千円(26,756千円の減) 防犯カメラ及び青色防犯パトロール車に係るリース資産
リース債務	52,827千円(26,772千円の減) 防犯カメラ及び青色防犯パトロール車に係るリース債務

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)		
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B
受益者負担比率		-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-
一般財源充当比率		96.5	100.0	100.0
				0.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書】【貸借対照表】
3か年計画で取り組んできた防犯カメラ設置が平成30年度で終了したことにより、減価償却費は増加していますが、リース資産及び固定負債のリース債務は減少しました。
【経常経費用の構成割合】
主なものについては、防犯講座等の啓発活動や市青色防犯パトロール活動、防犯カメラ管理運用業務等に従事する職員の給与関係費が51.5%を占め、次に減価償却費が32.2%を占めています。また、地域青色防犯パトロール活動を行う団体や地域防犯活動を行う吹田防犯協議会に対する事業補助等の負担金・補助金・交付金等が6.8%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

平成28年度から3か年計画で取り組んだ防犯カメラ設置事業等により見守りの目を増やし、一定の効果は表れてはいるものの、女性や子ども、高齢者を狙った事案は後を絶ちません。「自分の身は自分で守る」ことが重要であり、市民の防犯意識を高めるために、今後も吹田警察署や吹田防犯協議会と連携し、防犯講座やキャンペーン等の啓発事業を実施するとともに、地域単位での安心安全マップの作成・更新を通じた防犯意識の向上や地域の防犯活動支援など、地域の防犯力の向上を図りながら、より効果的な事業展開ができるよう努めてまいります。